

 **日本赤十字社** 大分県支部  
Japanese Red Cross Society

# 1 救急法講習

もし、目の前で人が倒れたら、怪我や急病になったらあなたはどうしますか？

心肺蘇生法やAEDの使い方など「いざというときに命を救う対応」を学ぶ講習です。日常や職場で役立つ知識・技術が身につきます。



# 2 水上安全法講習

いつでも、だれにでも起こり得る水の事故。未然に防ぐ方法と、溺れている人を安全に助ける方法を学びます。

水の事故予防、身近なもの（ペットボトルやナイロン袋）で自己保全、着衣泳（服を着たままの泳ぎにくさを体験）、溺者の救助などの実技を学びます。



# 5 大阪・関西万博に赤十字が参加

## 当支部からも職員を派遣

4月から開催された大阪・関西万博に、国際赤十字・赤新月運動がバビリオンを出展。全国の赤十字職員がスタッフとして参加し、当県支部からも2名が活動しました。

展示では、世界の人道危機と支援の現状を伝える映像が上映され、紛争地や災害現場で人命を守る職員の姿が描かれました。現場での葛藤や決断がリアルに伝わり、「人道とは何か」「自分にできることは何か」といった問いが来場者の心に自然と沸き起こるような内容でした。

参加職員は、「来場者が真剣に自分にできることを考え、メッセージに思いを込める姿が印象的でした。『東日本大震災の支援、ありがとうございました。』といった感謝の言葉を直接寄せてくださる方もおり、赤十字が人に寄り添い、心に届く活動をしていることを実感しました。その意義を改めて見つめ直す貴重な機会となりました。」と振り返ります。



スタッフとして参加した大分県支部職員



世界の人道危機に触れる半球型ドームシアター

# 人の命をつなぐために、私たちにできること。

## 3 健康生活支援講習

高齢期の健康管理や、高齢期を健やかに過ごすために知っておきたい知識と技術、高齢者の介護技術を学びます。

高齢期に多い事故の予防と手当、介護の方法（車いすでの移動・食事・排せつ）、災害時における高齢者支援（災害時に役立つ技術など）について学びます。



## 4 幼児安全法講習

乳幼児に起こりやすい事故や病気をあなたは知っていますか？

乳幼児への心肺蘇生、AEDの使い方、異物除去、子どもに多い事故と病気・看病の仕方について学べます。

「子どものもしもに備える」保護者や保育関係者におすすめの内容です。



豊後高田市  
赤十字奉仕団委員長

渡部 恵美子さん

## ボランティアボイス Volunteer Voice

Q どんな活動をしていますか。

A 豊後高田市赤十字奉仕団は、「命を守る」をスローガンに、赤十字の周知活動と防災・減災講座の開催に取り組んでいます。特に小さなお子さんのいる保護者の方や地域のボランティアの皆さんを対象に講座を行っています。

Q 活動を続けていてよかったこと

A 「命を守る」をつないでいく活動に取り組む中で、たくさんの方々に会えることです。防災講座の参加者さんが「家族の命を守るため、早速備えました」と笑顔で話すのを見るたびに継続の重要性を感じています。

Q 豊後高田市赤十字奉仕団を始めたきっかけは。

A 西日本豪雨時、私は子育てひろばで勤務していました。山の斜面から大量の水が流れている中、先に帰った親子が心配で、もっと早く声かけができればよかったと思い、大分県支部の防災講座を受講後、奉仕団に入団しました。

Q 赤十字ボランティアに参加して知ったこと。

A 今年の赤十字リーダー研修で自発的意思や自由な発想など「ボランティアだからこそ！できること」そして全国の奉仕団の活動の幅広さを知ることができました。学んだことを活かし、これからもわたしらしく活動していきたいと思っています。

※上記講習に興味のある方は日赤大分県支部にお問合せいただくか、ホームページをご覧ください。